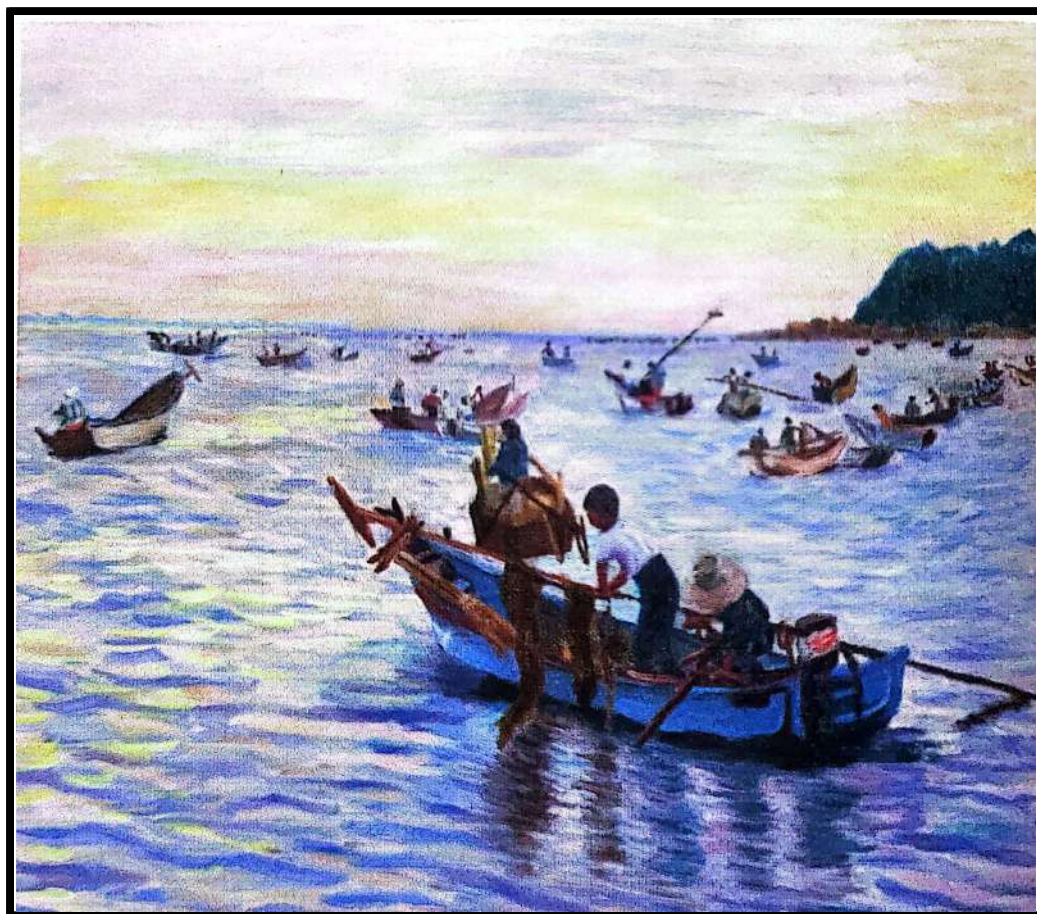

婦人会報

立教185年 9 月 令和四年
2022年



天理教婦人会旭日支部

通卷519号

十月例会案内

日時 十月五日（水）午前十時
場所 旭日大教会
内容 教祖祭

お願いごとめ
ておどりまなび（半下り）
大教会ひのきしん
お弁当配布

※ 社会状況により変更になる場合がございます。

十月例会役割

扨者	庄司 典子	庄司 英美
賛者	奥村 はる恵	岩崎 千鶴
指図方	木村 昌子	



女子青年例会案内

日時 9月24日（土）
場所 旭日大教会

※ 社会状況により変更になる場合がございます。
webブックレット『Blossom-Lite-no.16』を配信しました。

旭日大教会のホームページです。一度ご覧いただき活用下さいますようお願いいたします。カラーで楽しめます。

*PCR <https://asahi49.net>



表紙絵によせて

昆布漁は夏から秋にかけて（7～9月）、晴天で波のおだやかな日、早朝から8時ごろにかけて、行われます。

まだ日中は暑い日もありますが朝晩はずいぶん涼しくなりましたね。夏休みの間にしようと思っていたこと、暑くてできなかったこと、色々なことをやり始めるのに最適な秋がもうすぐそこまで来ていますね。

「おつとめの心構え」

vol.8

今回は「四下り目」
について述べさせ
ていただきます。



● 四下り目（慶応三年）【参考文献『みかぐらうたの世界をたづねて』道友社編】

◎ 一ツ

ひとがなにごといはうとも
かみがみているきをしずめ

一ツ 人がどんなことを言おうとも、神が見抜き見通している。気を鎮めよ

※1 「ふたり」

|| 関わり合っている二人。

(夫婦、親子、きょうだいなど)

◎ 二ツ

ふたりのこゝろををさめいよ
なにかのこともあらはれる

二ツ ふたりの心を治めて通れよ。何事もみな神の守護があらわれてくる

※2 「そばなもの」

|| 教祖の側な者、信者。

◎ 三ツ

みなみてるよそばなもの
かみのすることなすことを

三ツ 皆、見ていよ。側の者よ。神のすること

なすことすべてを



◎四ツ

よるひるどんちゃんつとめする
そばもやかましうた^{※3}てかろ



◎五ツ

いつもたすけがせくからに
はやくやうきになりてこい

◎六ツ

むらかたはやくにたすけたい
なれどこゝろがわからいで

◎七ツ

なにかよろづのたすけ^{※5}あい
むねのうちよりしあんせよ



四ツ

夜昼なくどんちゃん鳴物を入れてつとめする。
側にいる者（周り）も、喧しく煩わしいと思
うであろう

※3 「うたてかろ」

|| うたていの活用形。大和
地方では、煩わしい意味。

五ツ

いつもたすけを急ぎ込んでいるから、早く陽
気な心になるように

六ツ

むらかたを早くたすけたい。それなのに、そ
の心がわかつていないので

※4 「むらかた」

|| 村方、村の方、周囲。

七ツ

何事であれ、すべてがたすけ合いによつて成
り立っている。そのことを胸の内よりよく思
案してみよ

※5 「たすけあい」

|| ここでも扇の手振りには、
たすけたり、たすけられ
たりするとうい、お互い
が助け合う存在であるこ
とを表現。

◎八ツ

やまひのすつきりねはぬける
こゝろハだんくいさみくる

八ツ 病の根はすつきり抜けて、心は一段と勇んでくる※6

※6 「病の根」

|| 病の根が抜けると言うことは、いんねんの納消。

◎九ツ

こゝはこのよのごくらくや
わしもはやくまゐりたい

九ツ ここは、この世の極楽である。私も一時も早くお参りがしたい

※7 「このたび」

|| 親神様のおてびきを頂き、初めて教理を聞いて、信仰するようになった時。

◎十ド

このたびむねのうち※7
すみきりましたありがたい



十ド ついにこの度は胸の内がすつきりと澄み切った。こんなにありがたいことはない

※お道の信仰とは、どういうことか、が歌われています。おつとめによる世界たすけを教えられ、一れつ兄弟姉妹の教えに基づく真のたすけ合いのあり方を悟ることの大切さが強調されています。二人が心を揃えて通るところに、無理解であった周囲をも次第に感化して、共々に心澄み切つてゆく道程をお歌い下されています。扇を使用する一ツから七ツまでのお歌は親神様の立場からのお言葉で、扇を置いた後の八ツから十までは、人間の立場に立つてのお歌の表現となっています。



委員長後継者及び 教会子弟夫人講習会

去る、八月二十五日、委員長後継者及び教会子弟夫人講習会を開催いたしました。

まず、松田清重先生より「統一教会の教えと政治とのつながり」についての勉強会をしていただきました。なぜ洗脳されるのか、なぜ政治家が関わるのかが理解できました。そして、教祖がお通りくださり、お残しくださいましたひながたの



道の素晴らしさを再確認いたしました。

次に支部長様からご挨拶をいただきました。教会生活や子育ての忙しい中、どんな出来事に出会っても、全てが陽気ぐらしに導かれる神様の思いの中に居ると、教えを求め姿勢を忘れず通れば、必ず気付きがありますとお話いただきました。最後に、参加者皆の現況報告、そして、それぞれの生活の中で悟らせていた

く神様の親心などについてお話し合いをいたしました。コロナ渦中に無事、講習会を開催できましたことを大変有り難く思います。参加者は対象者五名、後継者係三名でした。

(後継者係)

第四回教会子弟

おつとめ勉強会

同日、三年ぶりに教会子弟おつとめ勉強会を開催いたしました。打ち物、笛、小鼓、琴、三味線、胡弓に分かれて時間いっぱい、熱



心に勉強してくれました。最後に四階講堂にて合奏（よろづよ八首）をしました。

お楽しみ会でビンゴをする頃には、緊張した顔はほぐれて笑顔で閉講を迎えることができました。

年中さんから中三生まで、計二十四名の子どもが参加してくれました。



第30回
女子青年大会



立教185年 2022年 11月27日 日

式典 ▶ 午前10時 本部中庭

支部のつどい

別席



教えを学び 教祖にお喜びいただける日々を
～感謝の心をおちばにつなごう～

天理教婦人会

詳細はこちら



旭日女子青年の当日の動き

- 08:00 大教会集合
- 08:45 大教会出発
- 09:15 本部南支所合流
- 10:00 式典参加
- 11:00 本部にてひのきしん・おつとめ
- 12:00 大教会へ移動
- 12:30 大教会にて支部のつどい（昼食・お楽しみ行事）
- 15:00 解散

部分参加も大丈夫です。友達を誘って頂いてもかまいません。みんなで行こう。



※今後の社会状況によっては変更の可能性もあります。

何程案じても

「どういふ事も成るよう行くよう、
大き事情治めてくれるよう。
何程案じても、案じたように行かん。」

(おさしづ 明治23年9月18日)



発 行 所	発 行 者	発 行 日
天理市田井庄町二二八 天理教婦人会旭日支部	岡 本 道 子	令 和 四 年 九 月 五 日